



国際農研

熱帯・島嶼研究拠点

# 保有熱帯果樹 遺伝資源

平成 31 年 3 月



国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター  
熱帯・島嶼研究拠点

〒907-0002 沖縄県石垣市字真栄里川良原 1091-1



はじめに

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター（国際農研）は、開発途上国の農林水産業技術の向上のため、アジア、アフリカ、南米の国々と共同研究を実施しています。国内の活動は、茨城県つくば市の本部と沖縄県石垣市の熱帯・島嶼研究拠点（通称：「熱研」）で行っています。「熱研」では国際対応の農業研究を行うとともに、イネ、サトウキビ、マンゴーなど、熱帯の作物や果樹の遺伝資源を国内で利活用するために保存しています。

「熱研」で保存している作物のうち、熱帯果樹については気候変動に伴う温暖化の影響もあり、我が国での栽培に関心を持つ方が増えてきています。しかし、熱帯果樹に関する国内での知見、情報は温帯果樹と比べて限られており、「熱研」への問い合わせも少なくありません。そこで、「熱研」において熱帯果樹を保存、栽培するうえで得た知見、東南アジア等の熱帯果樹栽培現地で得た情報について、日本の研究者、生産者、消費者の皆様を提供することを目的として本資料を作成しました。

なお、「熱研」の熱帯果樹圃場は台風対策のために現在再整備中であり、大きな樹は苗木を育成して伐採しています。このため、多くの熱帯果樹遺伝資源は一時的に鉢植え、もしくは圃場に苗の仮植状態となっています。現状では、本資料の写真の状態ではないものも多いことをご了承ください。

「熱研」では品種の苗木等の販売はしておりません。研究を目的とした材料提供をご希望の方は、「熱研」広報担当（電話：0980-88-6201 E-mail：pro-nekken@ml.affrc.go.jp）にお問い合わせください。

本資料の情報は、JIRCAS ホームページの「利用規約」に従ってお使いください。

2019年3月

緒方達志、山中慎介、香西直子（※）

※現：鹿児島大学農学部

## 凡例

### 掲載樹種

「熱研」で保存・栽培している熱帯・亜熱帯果樹は60種を超えるが、「熱研」で開花・結実（一部開花のみ）の実績があり、かつそれらの写真があるものから40種を掲載した。

### 和名・科名

原則として「園芸学用語集・作物名編」（養賢堂）に準じた。一部の和名・科名、および「園芸学用語集・作物名編」に記載のない作物の和名・科名については、我が国で一般的に使われていると考える名称とした。

### 学名・英名

原則として「園芸学用語集・作物名編」（養賢堂）に準じた。一部の学名・英名、および「園芸学用語集・作物名編」に記載のない作物の学名・英名については、多くの文献で使用されている学名・英名とした。

### 別名

「園芸学用語集・作物名編」（養賢堂）、「図説 熱帯の果樹」（養賢堂）等を参考にした。

### 原産地

「図説 熱帯の果樹」（養賢堂）、「熱帯くだもの図鑑」（海洋博覧会記念公園管理財団）、「図説 世界のくだもの365日事典」（講談社）等を参考にした。

地域は、国際連合による地域の分類（geographical sub-region）

を用いるとともに、熱帯アメリカ（テキサス南部～南米北部（西インド諸島含む））を使った。詳細情報がある場合は括弧書きした。

### 保存品種・系統数

生物研ジーンバンクの熱帯作物サブバンクとして「熱研」が保存している遺伝資源（未公開含む）、および「熱研」で独自に保存している品種・系統の合計数を示した。

### 開花期・収穫期

「熱研」での観察結果を記載した。年度によって異なるので、平均的な時期とした。黒文字の月が当該時期である。調査が十分でないものもあり、今後修正の可能性はある。「熱研」で未結実の場合はその旨記載した。

### 果実の特徴、樹の特徴・栽培特性

「熱研」の果樹担当職員の経験等による知見、現地で収集した情報を記載するとともに、「図説 熱帯の果樹」（養賢堂）等を参考に記述した。経験等による知見は、品種や栽培環境によっては当てはまらない可能性もある。

### 写真

「熱研」の職員（撮影時）が撮影した写真を掲載した。国名等の説明がない場合は、「熱研」内で撮影した写真である。

樹姿、開花状況、結実状況、果実、海外の写真（2枚）の計6枚を基本とし、そろわない場合は適宜調整した。

## 掲載熱帯果樹遺伝資源リスト

各ページへの移動には PDF のしおり機能が利用できます。

アセロラ	トゲバンレイシ
アテモヤ	ドラゴンフルーツ (ピタヤ)
アビウ	ドリアン
アボカド	パインアップル
アメダマノキ	パッションフルーツ
イヌバンレイシ	バナナ
インドナツメ	パパイア
カシューナッツ	バンレイシ (シャカトウ)
カニステル	ピタンガ
カムカム	フェイジョア
グアバ	フトモモ
コーヒーノキ	マカダミア
サポジラ	マンゴー
ジャックフルーツ (パラミツ)	マンゴスチン
ジャボチカバ	ミラクルフルーツ
シロサポテ (ホワイトサポテ)	ヤマトゲバンレイシ
スイショウガキ (スターアップル)	ランブータン
スターフルーツ (ゴレンシ)	リュウガン (ロンガン)
ストロベリーグアバ	レイシ (ライチ)
チェリモヤ	レンブ

# アセロラ

科 キントトラノオ科

学名 *Malpighia emarginata* DC., *Malpighia glabra* L.

英名 Acerola, Barbados cherry

別名 バルバドスザクラ, アセローラ

原産地 中央アメリカ(西インド諸島)～南アメリカ(北部)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は球形で1～3cm。光沢のある深紅色の果実で、爽快な酸味がある。生食、ジャムやジュース等で好まれている。ビタミンCが多く、美容と健康の観点から人気がある。ただし、日持ちが悪いので、生果での市場流通はほとんどない。ベトナムでは世界でも例外的に市場で生果が売られている。

## 樹の特徴・栽培特性

細く長い枝が多く、樹高は3m程度でそれほど大きくならない。沖縄では夏季を中心に年間に4～6回、開花・結実する。一般的に結実率が低い。開花時に植物ホルモンの一つであるジベレリン処理を行うと結実率が向上する。発芽能力のある種子はほとんど入らないが、挿し木で容易に繁殖できる。



樹姿



開花状況



花(近接)



結実状況



果実



果実(ベトナム)

# アテモヤ

科	バンレイシ科
学名	<i>Annona x atemoya</i> Mabb., <i>Annona squamosa</i> L.xA. <i>Cherimola</i> Mill.
英名	Atemoya
別名	パイナップルシャカトウ
原産地	人工種間交雑種で、自然の原産地は無い。

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果肉は甘く、柔らかい。カスタードクリームのような滑らかな舌触り。生果を冷やして食べたり、ミルクセーキやシャーベットにしてもおいしく食べられる。

## 樹の特徴・栽培特性

同じAnnona属で暑さに弱い果実は極めて美味しいチェリモヤと、暑さに強いバンレイシの交雑種。比較的暑さに強く、適切な樹勢の新梢であればほとんど着花する。収穫時期を剪定時期を変えることで調整出来る。石垣島では夏季栽培、冬季栽培ともに可能である。特殊な花の形状からハチやハエ類では受粉できず、甲虫類が受粉している。石垣島では放任で多少結実するが、結実向上には人工受粉が必要である。



樹姿



開花状況



結実状況



果実(縦断)



いろんな品種の果実



果実(台湾)

# アビウ

科 アカテツ科

学名 *Pouteria caimito* Radlk, *Lucuma caimimto* Roem. & Schult.

英名 Abiu

別名

原産地 南アメリカ(アンデス地方)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は卵状楕円形から丸型、甘いはちみつのような香り、果肉はやや透明な乳白色、種子周辺は寒天状で特に甘味が強い。酸味なく甘くて美味しい。

## 樹の特徴・栽培特性

枝はやや細めで下垂しやすく、樹姿は開張しやすい。沖縄県では開花は多数見られるものの、結実例は少ない。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



果実



果実(インドネシア)

# アボカド

科	クスノキ科
学名	<i>Persea americana</i> Miller
英名	Avocado, Butter fruit, Alligator pear
別名	ワニナシ, 酪梨(中国語), バターノキ
原産地	中央アメリカ

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は洋梨形、球形、卵形などがあり、長さ5~20cm程度。果実には不飽和脂肪酸(オレイン酸やリノール酸)が多く含まれ、「森のバター」とも言われる。栄養豊富で、果物としては珍しくビタミンEが含まれてる。日本で売られているのは、ほとんどがメキシコからの輸入されている「ハス」という品種で、熟すと果皮が黒紫色になる。その他多くの品種の果皮は熟しても緑色のままである。

## 樹の特徴・栽培特性

熱帯果樹としては耐寒性が強く、品種によっては-4℃にも耐える。両性花であるが、雄花および雌花として同一の花が2回開花する。開花型にA型(午前雌花、午後雄花)とB型(午前雄花、午後雌花)があり、結実率向上には両タイプの品種を混植する方が良い。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



果実(インドネシア)



果実(ラオス)

# アメダマノキ

科 トウダイグサ科

学名 *Phyllanthus acidus* (L.) Skeels

英名 Otaheite gooseberry, Malay gooseberry

別名 オタヘイト, スターグーズベリー

原産地 南アメリカ(ブラジル北東部)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果形が駄菓子(飴玉)に似ているところからこの名がついた。果実は偏球形で径2.5cm程度。果実は酸味極めて強く、生食には不向きである。塩漬け、ジャム、ゼリーなどに用いるほか、酸味を加える調味料として料理に使用される。

## 樹の特徴・栽培特性

豊産性で栽培容易である。石垣島ではほぼ周年結実する。



樹姿



開花状況



結実状況



果実と種子



樹(タイ)



結実状況(タイ)



# イヌバンレイシ

科 バンレイシ科

学名 *Annona glabra* L., *Annona palustris* L.

英名 Pond apple , Alligator apple, Mangrove annona

別名 イケリンゴ, ポンドアップル

原産地 熱帯アメリカ (フロリダ南部、バハマ諸島、西インド諸島)~西アフリカ

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は卵形～心臓形で、長さ10cm程度。熟すと黄色を帯び、果肉は軟らかく黄色である。クセのある芳香があり、一般的には生食に適さない。

## 樹の特徴・栽培特性

耐湿性に優れ、英名の通り低湿地でも成育できる。このため、チェリモヤの台木に使われることがある。アテモヤやバンレイシとは接ぎ木可能ではあるが、数年後に不親和で枯死することがあるため台木にはできない。



樹姿



開花状況



花内部



結実状況



果実



果実

# インドナツメ

科 クロウメモドキ科

学名 *Zizyphus mauritiana* Lam.

英名 Jujube, Indian jujube, Ber

別名 イヌナツメ, ジュジュベ

原産地 南～東南アジア (インド、ミャンマー)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は50～100g程度。風味は青リンゴと似ている。生食の他、乾果、缶詰、ピクルス等にも加工利用されている。台湾では品種および栽培技術改良が進んでおり、果実重が150gを超えるものもある。収穫期は、一般的に2～3月。夏果も採れるが、果実品質は冬果に劣る。

## 樹の特徴・栽培特性

樹勢極めて強く成長旺盛であり、経済栽培では一般的に収穫後強せん定して樹を切り縮める。従来品種は枝にあるとげが大きく作業しにくい。改良品種ではとげが小さい。午前開花、午後開花する品種があり、両品種を混植した方が結実良いと言われている。樹はシナナツメと酷似してるが、シナナツメは葉裏に毛が無く温帯性。インドナツメは葉裏に毛があり熱帯性である。



樹姿(台湾)



開花状況



結実状況



果実



枝のとげ



果実(台湾)

# カシューナッツ

科 ウルシ科

学名 *Anacarium occidentale* L.

英名 Cashew, Cashew nut, Promotion nut

別名 マガタマノキ, カシューナツノキ

原産地 南アメリカ (アマゾン低地、北部ブラジル沿海)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

リンゴのように花托が肥大して長さ4~8cm、黄色~赤色になり、この部分がカシューアップルと呼ばれる。利用されることは少ないが、ジュースに加工されることもある。さわやかなリンゴジュースのような味。カシューアップルの先端に長さ5cm程度の腎臓形で硬い殻状の果実をつけ、内部にカシューナッツとなる仁がある。

## 樹の特徴・栽培特性

成長旺盛で、かつ実生でも1~2年後には開花することもあり、接ぎ木ではなく種子繁殖されることが多い。自家不和合性であり、1品種・系統だけでは結実しない。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



結実状況(タイ)



カシュー園(タイ)

# カニステル

科	アカテツ科
学名	<i>Pouteria campechiana</i> (Kunth.) Baehni, <i>Lucuma nervosa</i> A. DC.
英名	Egg fruit, Canistel
別名	クダモノタマゴ
原産地	中央アメリカ

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果肉はやわらかで水分は少ない。食感はやで卵の黄身や和菓子の餡のように滑らかな口どけで、甘くて美味しい。ジャコウのような香りがある。

## 樹の特徴・栽培特性

枝は柔らかく、開張しやすい。結実も良好で栽培しやすい。熱研では年間2~3回程度開花、結実する。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



果実(タイ)



結実(ラオス)

# カムカム

科 フトモモ科

学名 *Myrciaria dubia* (Kunth.) McVaugh

英名 Camu camu

別名

原産地 南アメリカ(ペルー)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は径10～30mmと小さく、赤紫色の球形。酸味が強く、生食よりも加工(主に飲料)に利用されることが多い。知られている植物の中でビタミンCが最も多く、レモンの60倍にも達する。

## 樹の特徴・栽培特性

ジャボチカバと近縁であり、葉や花の形状は似ている。ただし、ジャボチカバが太い枝に着花するのに対し、カムカムは細い枝に着花する。



樹姿



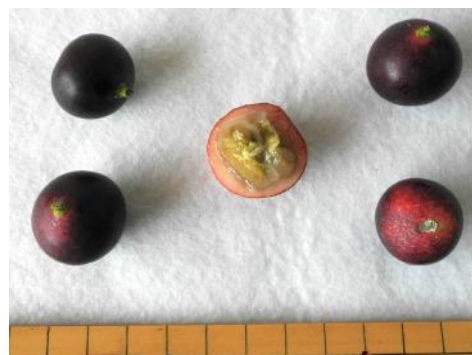
開花状況



蕾



結実状況



果実



果実

# グアバ

科	フトモモ科
学名	<i>Psidium guajava</i> L.
英名	Guava, Common guava
別名	バンジロウ, バンザクロ(番石榴)
原産地	中央アメリカ(メキシコ南部)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実の直径は10cm程度。果形は球形、卵形または洋梨形と品種により異なる。果実はカロテン、ビタミンCを含み、生食されるほか、ジュースなどに利用される。また、タンニンを含む葉は高血圧症状を改善する効果があることからグアバ茶としても利用される。アジアではカリッとした歯ざわりの白肉種が一般的だが、沖縄県ではなめらかな肉質の赤肉種も好まれている。

## 樹の特徴・栽培特性

樹皮はサルスベリのようにつるつるしている。1品種でも結実良好で、栽培しやすい。熱帯地域では周年生産が可能である。



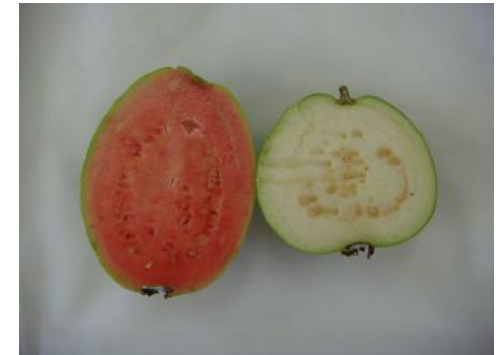
樹姿



開花状況



結実状況



果実(赤肉種と白肉種)



結実状況(ラオス)



ミバエ対策の袋掛け栽培(マレーシア)

# コーヒーノキ

科	アカネ科
学名	<i>Coffea arabica</i> L. (アラビカ種), <i>Coffea canephora var. robusta</i> (ロブスタ種)
英名	coffee
別名	
原産地	アフリカ(アラビカ種:エチオピア、ロブスタ種:コンゴ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は球形～楕円形、径1.5cmで熟すと赤色または紫色になる。果実から果肉と種子の外皮を取り除いた生豆を焙煎、粉碎、湯などで抽出してコーヒーとして飲用する。

## 樹の特徴・栽培特性

コーヒーノキには数種あるが、商業栽培されているのはほとんどがアラビカ種とロブスタ種であり、そのうちでもコーヒーの品質がよいアラビカ種の栽培が多い。ロブスタ種は、品質はアラビカ種に及ばないが病害虫に強く、高温多湿条件でも栽培しやすい。



樹姿



開花状況



開花状況(ベトナム)



コーヒー園(ベトナム)



結実状況(ベトナム)



天日乾燥(ベトナム)

# サポジラ

科	アカテツ科
学名	<i>Manilkara zapota</i> (L.) P. Royen, <i>Achras zapota</i> L.
英名	Sapodilla, Chewinggum tree
別名	チューインガムノキ
原産地	中央アメリカ（メキシコ南部、グアテマラ、ホンジュラス北部）

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は球または卵形で直径5～10cm程度。果皮は薄く果肉は赤褐色。表面にキウイフルーツのような毛がある。酸味がほとんど無く、甘味が非常に強い。はちみつとジャスミンのような香りがある。

## 樹の特徴・栽培特性

強勢な枝にはほとんど結実しななので、適切な樹勢維持が重要である。成熟しても外観の変化が小さく収穫の判断が難しい。成熟すると地色の緑が抜けるためやや色が薄くなるとともに、果実表面の毛が取れやすくなる。



樹姿



開花状況



結実状況



結実状況



樹姿(ベトナム)



果実(ベトナム)



# ジャックフルーツ

科	クワ科
学名	<i>Artocarpus heterophyllus</i> Lam.
英名	Jackfruit tree
別名	パラミツ, ナガミパンノキ, ナンカ
原産地	南アジア(インド)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

幹や太い枝に直接果実が着き、系統によっては50kgにもなるが、熱研で保有する系統は8~15kg程度である。完熟すると特有の香りを放つ。種子の周りの仮種皮と呼ばれる部分を生食するほか、加工にも利用される。種子は茹でて食べたり、粉末にして小麦粉の代用にすることができる。

## 樹の特徴・栽培特性

雌雄異花。高さ数十mにもなる高木だが、せん定により樹高3m程度に抑えることが可能である。石垣島ではよく庭先に植えられており、結実していることも少なくない。芳香を放つようになるか果皮に弾力が出てきたら収穫可能である。必要であれば追熟させ、果皮が十分に柔らかくなったら食べ頃である。



樹姿



左2つ:雄花、右2つ:雌花



結実状況



果実



果実



果実(ベトナム)

# ジャボチカバ

科 フトモモ科

学名 *Myrciaria cauliflora*. (Mart.) O. Berg

英名 Jaboticaba

別名

原産地 南アメリカ(ブラジル南部)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は丸く黒紫色で、径2~4cm。ブドウ(巨峰)の粒のような外観。果実は甘く、乳白色の果肉も味もブドウにやや似ている。生食のほか、ゼリーやジャムの原料となる。

## 樹の特徴・栽培特性

成長遅く、1mの高さになるのに播種から4~5年かかる。最初は細い枝が密生して垂れやすいので、まっすぐ上に誘引してやると成長が促進される。花は幹または太枝に直接着生する。開花時は全樹真っ白となって樹氷のような景観となる。葉にカリウム欠乏症様の葉縁やけが出やすい。現状では大きな実害はないがカリウム追肥で多少軽減される傾向にある。



樹姿



開花状況



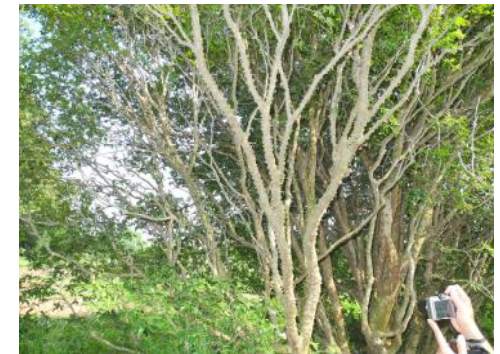
結実状況



開花・結実



果実



樹姿(台湾)

# シロサポテ

科 ミカン科

学名 *Casimiroa edulis* La Llave et Lex.

英名 White sapote, Mexican apple

別名 ホワイトサポテ

原産地 中央アメリカ(メキシコ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は径8cm前後で黄緑～緑色。収穫後に追熟が必要。軟化し始めは柿のような食感である。追熟の進行が早く、すぐに過熟となるので注意が必要。適熟果の果肉は乳白色～黄色で柔らかく、酸味少なくきわめて甘い。ミルクとの相性がよい。葉には高血圧症を改善する効果があり、お茶にして飲用してもよい。

## 樹の特徴・栽培特性

樹勢強く、結実も良好で栽培しやすい。自家和合性だが花粉の無い品種があるので、その場合は受粉樹として花粉のある品種を混植する。成熟しても果実の変化が少ないので、収穫の判断が難しい。早採りしても追熟可能であるが渋みが残るので、開花後少なくとも5カ月、できれば6カ月以上してから収穫する。



樹姿



開花状況(花粉有)



開花状況(花粉無)



結実状況



結実状況



果実

# スイショウガキ

科	アカテツ科
学名	<i>Chrysophyllum caimito</i> L.
英名	Star apple, Caimito, Milk fruit
別名	スターアップル, ミルクフルーツ
原産地	中央アメリカ (西インド諸島)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は球形、径5～10cm。紫色又は淡緑色で果肉はやや透明な乳白色、種子周辺は寒天状で特に甘みが強い。酸味がなく特有の風味がある。果実の横断面の模様からstar appleと呼ばれる。果実を切ると乳白色の汁液が出ることから、milk fruitとも呼ばれる。

## 樹の特徴・栽培特性

葉表の艶のある緑と、葉裏の薄茶色のコントラストが特徴的である。着花は良好であるが、強勢な枝には結実しにくい。このため結実枝は下垂気味に整枝するとよい。熱研ではこれまでのところ鉢栽培では糖度が高い高品質な果実が収穫されるが、露地栽培では果実の糖度が低い。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



結実状況(ベトナム)



果実(ベトナム)

# スターフルーツ

科	カタバミ科
学名	<i>Averrhoa carambola</i> L.
英名	Star fruit, Carambola, Caramba
別名	ゴレンシ, カランボラ
原産地	南～東南アジア（マレー半島、モルッカ諸島、インド、インドネシア）

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は卵形～長楕円形。断面が星形で、果肉は半透明、多汁質で甘酸っぱく爽快な味である。ビタミンC、カルシウム、マグネシウム、リンなどに富む。ややえぐみがあるが、5角の稜線部分に多いため、この部分を除くと食べやすい。

## 樹の特徴・栽培特性

枝が柔らかく垂れやすいので、棚栽培が可能である。花の中央にあるめしべが長い品種と短い品種があり、両者を混植した方が結実率が高いとされているが、品種によっては1品種だけでも良く結実する。種子は少ないが、挿し木で繁殖可能である。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



いろいろな品種の果実



ミバエ対策の袋かけ(インドネシア)

# ストロベリーグアバ

科	フトモモ科
学名	<i>Psidium cattleianum</i> Sabine, <i>Psidium littorale</i> Raddi
英名	Strawberry guava, Cattley guava, gooseberry guava
別名	テリハバンジロウ, イチゴグアバ, 照葉蕃石榴
原産地	南アメリカ(ブラジル)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は丸く直径2.5～4cm、表面なめらかで赤紫色、果肉は帯紅色で軟らかく、中心部ほど白い。イチゴに似た甘い香りがある。生食のほか、加工にも利用される。

## 樹の特徴・栽培特性

結実がよくタネも多いことから繁殖力旺盛で、地域によっては有害植物とされることもある。ただし、石垣島では自然に繁殖することはみられていない。変種として果皮が黄色いキミノバンジロウがある。



樹姿



開花状況



結実状況



果実

# チェリモヤ

科 バンレイシ科

学名 *Annona cherimola* Mill., *Annona cherimolia* Lam.

英名 Cherimoya, Custard apple, Cherimoyer

別名 セリモリアアノナ

原産地 南アメリカ(アンデス高地)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実の形は品種により多様。大きなものは径15cmになる。チェリモヤとはペルー語で「冷たい種子」、「乳房」のふたつの意味がある。非常に甘く、適度な酸味も加わって美味。このため、マンゴー、パイナップル、もしくはマンゴスチンと共に「世界の3大美果」の一つに挙げられることもある。

## 樹の特徴・栽培特性

適切な樹勢の新梢であればほとんど着花するため、剪定時期を変えることにより収穫時期を調節可能である。ただし暑さに弱いため、石垣島で夏季栽培するとほとんど裂果・落果する。秋季にせん定し開花させる冬季栽培では高品質の果実が採れる。特殊な花の形状からハチやハエ類では受粉できず、甲虫類が受粉している。石垣島では放任では結実少なく、結実向上には人工受粉が必要である。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



いろんな品種の果実

# トゲバンレイシ

科 バンレイシ科

学名 *Annona muricata* L.

英名 Soursop, Guanabana

別名 オランダドリアン, オオバンレイシ, ササップ

原産地 中央アメリカ (西インド諸島)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は1kg以上と大きく、トゲのような突起がある。繊維が多いので、生食よりもジュースとして利用されることが多い。

## 樹の特徴・栽培特性

雌雄同花だが雌性先熟で、花粉が出るのは開花約1週間後と非常に遅い。そのためか、沖縄県では一般的に結実は良くない。また、種子が少ないことが多く、きれいな整形果は少ない。自家和合性であり、人工受粉をすると結実良好になるとともに整形果となるとのことである。



樹姿



開花状況



結実状況(ベトナム)



果実



果実



果実(ベトナム)



# ドラゴンフルーツ

科 サボテン科

学名 *Hylocereus undatus* (Haw.) Britton. et Rose

英名 Pitaya, Dragon fruit, Pitahaya

別名 ピタヤ, サンカクサボテン, 白蓮閣

原産地 中央アメリカ (メキシコ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は円形～楕円形、径10～12cm。果肉色は白、ピンク、赤がある。赤肉種には華やかな香りがある。多汁で中に多数の小種子を含む。熟した果実を生食する他、ジュース、シャーベットやジャムにすることができる。蕾や花びらは野菜として利用できる。原産地での呼び方であるピタヤもよく使われる。

## 樹の特徴・栽培特性

サボテンの仲間であるが、樹などに寄生して成長する特性がある。基本的には白肉種は自家和合性、赤肉種は自家不和合性である。最近では交雑により赤肉種で自家和合性のものもある。夜間に直径20cm程度の大きな花が開花し、開花から40日程度で収穫できる。一定間隔で地域で一斉に開花する傾向にあり、沖縄県では年間6回程度の収穫盛期がある。



樹姿



開花状況



結実状況



果実(白肉)



ミバエ防止袋かけ(マレーシア)



結実状況(ベトナム)

# ドリアン

科 パンヤ科

学名 *Durio zibethinus* Murray

英名 Durian, Civet cat fruit

別名

原産地 東南アジア (マレーシア、ボルネオ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は3kg程度と大きく、表面に多数の鋭い突起がある特徴的な果実。加えて強烈な香りと味から果物の王 (King of fruits) と呼ばれることもある。香りは人により好き嫌いが激しい。しかし、味に魅せられる人は多い。輸入果実は早採りであり、是非東南アジアで完熟果を味わってほしい。

## 樹の特徴・栽培特性

放任では高さ20mにもなる高木である。栽培条件を選び、東南アジア以外ではほとんど栽培されていない。モンスーン気候地域では5~7月頃に収穫されることが多い。熱研では開花は見られるが、結実には至っていない。



樹姿



開花状況



結実状況(タイ)



果実(内部)



樹姿(タイ)



果実(タイ)

# パイナップル

科 パイナップル科

学名 *Ananas comosus* Merr., *Ananas sativus* Schult.f.

英名 Pineapple, Ananas, Pine

別名 パインアップル, 鳳梨(中国語)

原産地 南アメリカ (ブラジル南部、パラグアイ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

パイナップルは酸っぱいと思っている人もいるかもしれないが、沖縄県産の6~8月の完熟果実は高糖低酸で極めて食味が良い。ピーチパイナップルと呼ばれる「ソフトタッチ」は、熱研で交配し、沖縄県農業研究センターで選抜、登録された品種である。

## 樹の特徴・栽培特性

pH5~6の酸性土壌に適しており、アルカリ性土壌では生育不良となる。沖縄県では植え付け後、収穫まで18~24カ月程度かかる。植物ホルモンの一つであるエチレン(誘導剤)処理等により、容易に花芽誘導ができる。増殖は果実上部の冠芽か、果実の下から伸びてくる吸芽等で行う。同じ株で複数回収穫可能であるが、果実が小さくなる等果実品質が低下するので通常1~2回収穫したら株を更新する。



栽培状況



開花状況



結実状況



果実



栽培状況(インドネシア)



路上販売(ラオス)

# パッションフルーツ

科 トケイソウ科

学名 *Passiflora edulis* Sims

英名 Passion fruits, Purple granadilla, Purple passion fruits

別名 クダモノトケイ, ショクヨウトケイソウ, 百香果(中国語)

原産地 南アメリカ(ブラジル)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は長さ8～10cmの卵形。パッションとは受難の意味であり、開花時の雌しべが十字架に掛けられたキリストの姿に見えることからパッションフルーツと呼ばれる。果実には強い芳香があり、多汁で甘みが強いが酸味も強い。黄果系は特に酸味強く、ジュースやジャムなどの加工品に用いられることが多い。

## 樹の特徴・栽培特性

つる性であり、条件が良ければ植え付け後4～5カ月で開花し始め、その2～3カ月後から収穫できる。暑さに弱く、石垣島では7月～8月はほとんど着花しない。黄果系の方が紫果系よりもやや暑さに強い。一般的に紫果系は自家和合性で黄果系は自家不和合性だが、交雑種はその限りではない。日本では自家和合性品種でも受粉しないとほとんど結実しない。挿し木で繁殖可能である。



樹姿



開花状況



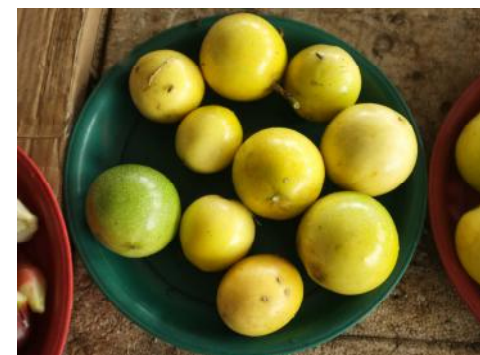
結実状況



果実



樹姿(ラオス)



果実(ラオス)

# バナナ

科 バショウ科

学名 *Musa* spp., *Musa sapientum* L.

英名 Banana, Common banana, Sweet plantain

別名 ミバショウ, ミバナナ, 香蕉(中国語)

原産地 東南アジア

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

手で皮が簡単にむけるという食べやすさから、ほとんどがそのまま生食される。プランテインと呼ばれる種類は熟しても糖化せず澱粉食品(食糧)として利用され、生食用バナナとは別扱いされる。フィリピンやエクアドル等から輸入されているのはほとんどが「キャベンディッシュ」という品種である。沖縄県等で栽培されているいわゆる「島バナナ」(小笠原種)は、強い甘味とともに適度な酸味もあり、とても美味である。

## 樹の特徴・栽培特性

草本性の植物であり、一般的に株分けにより増殖される。病虫害対策として組織培養苗も用いられる。葉が35~45枚になると(植え付けより12カ月程度)出蕾する。風害に非常に弱い。



樹姿



開花状況



結実状況



結実状況



結実状況(インドネシア)



果実(ラオス)

# パパイヤ

科 パパイヤ科

学名 *Carica papaya* L., *Papaya carica* Gaertn.

英名 Papaya, Papaw, Melon tree

別名 パパイヤ, 木瓜(中国語), チチウリ(乳瓜)

原産地 中央アメリカ (メキシコ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は0.5～1.5kg、長さ7～20cmになる。生食のほか、未熟果は野菜として利用される。未熟果の果皮に傷をつけると出る白い樹液には強力なタンパク質分解酵素のパパインが含まれ、食肉の軟化、洗顔料等に使用される。ただし、成熟果にはパパインはほとんど含まれていない。

## 樹の特徴・栽培特性

種子で繁殖させると雄株、両性株もしくは雌株が出る。熱研ではわい性で暑さに強く、タネ無しの「石垣珊瑚」と、大果で半わい性の「石垣ワンダラス」を育成している。



樹姿



開花状況



結実状況



種子無果実(品種名:石垣珊瑚)



パパイン用汁液採集(インド)



果実(タイ)

# バンレイシ

科 バンレイシ科

学名 *Annona squamosa* L., *Annona cinerea* Dunal.

英名 Sugar apple, Sweet sop, Sweet apple

別名 シャカトウ (釈迦頭)

原産地 中央～南アメリカ

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実の形状から釈迦頭(しゃかとう)とも呼ばれる。白い果肉は軟らかく、上品な甘さとバラの香りが美味。チェリモヤやアテモヤとは違い、酸味はない。

## 樹の特徴・栽培特性

アテモヤの片親であり、暑さに強く熱帯地方で栽培される。チェリモヤ、アテモヤと同様の花だが、放任でも比較的結実しやすい。表面の鱗片が割れて隙間のやや白い部分が見えてきたら収穫時期である。収穫後の追熟進行は早く、常温では数日で軟化し、5日もすると黒変するので注意が必要。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



果実(タイ)



果実(台湾)

# ピタンガ

科 フトモモ科

学名 *Eugenia uniflora* L.

英名 Pitanga, Surinam cherry, Brazil cherry

別名 タチバナアデク, カボチャアデク

原産地 南アメリカ(ブラジル)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は偏球形で径2.5～3cm。緑～黄～橙～赤と熟期が近づくと濃赤色になる。早採りでは酸味が強く、果皮が濃赤色になってから収穫すると甘くて美味しい。沖縄県の在来系統は臭みがやや強いが、改良された品種は臭みが少なく食べやすい。果実がやわらかく傷みやすいので、輸送には不向きである。

## 樹の特徴・栽培特性

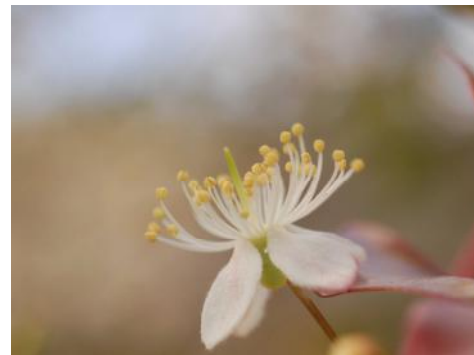
豊産性で栽培しやすい。結実過多で葉に養分欠乏がでることがある。色とりどりの果実がサクランボのように成っている様子はとてもきれいで、低木で美しい生け垣材料としても利用されている。



樹姿



開花状況



花



結実状況



結実状況



果実



# フェイジョア

科	フトモモ科
学名	<i>Acca sellowiana</i> (Berg) Burnet, <i>Feijoa sellowiana</i> Berg
英名	Feijoa, Pineapple guava
別名	パイナップルグアバ, アナナスガヤバ
原産地	南アメリカ

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実はパイナップル、イチゴやグアバを思わせる香りがある。通常は落果してから追熟させて生食する。

## 樹の特徴・栽培特性

葉裏がビロードのようで白っぽく、花は内側が緋紅色、外側が白と美しく、観賞用としても楽しめる。



樹姿



開花状況



開花状況



結実状況

# フトモモ

科 フトモモ科

学名 *Syzygium jambos* (L.) Alston, *Eugenia jambos* L.

英名 Rose apple, jambos, jambosa

別名 フートウ

原産地 東南アジア

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は球形から洋梨形、径3~5cm。果皮は黄白で桃色の彩りがある。果肉は白く、果汁少なく、バラに似た芳香がある。

## 樹の特徴・栽培特性

結実よく豊産性で栽培しやすい。同じフトモモ科のレンブとは接ぎ木親和性がある。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



果実(タイ)



果実(タイ)

# マカダミア

科 ヤマモガシ科

学名 *Macadamia integrifolia* Maiden et Betche, *Macadamia terniifolia* F. v. Muell.

英名 Macadamia nut tree, Queensland nut tree, Australian bush nut

別名

原産地 オセアニア(オーストラリア)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は丸く、径2.5cm、中に固い茶色の種子が1個含まれる。乳白色の仁はナッツ類で最も高級品とされている。チョコレートに包まれたマカダミアナッツのお土産は有名である。

## 樹の特徴・栽培特性

熱帯果樹としては寒さに強く、温暖な地域であれば本州でも栽培可能である。小さな花は房状に上から下へと開花し、とてもきれいで、花の色は品種によってピンクや白がある。葉はヒイラギのようなトゲがあり、枝は硬くて折れやすく、風害に弱い。アルカリ性土壌では鉄の欠乏症が激しく出る。



樹姿



開花状況



花



幼果



結実状況



果実

# マンゴー

科 ウルシ科

学名 *Mangifera indica* L.

英名 Mango, Indian mango

別名 芒果(中国語)

原産地 南～東南アジア(インド、マレー半島)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実の形状と色は品種により多様。小果は長さ4cm程度、大果では30cmに達するものもある。チェリモヤ、マンゴスチン、またはパイナップルと共に「世界の3大美果」の一つに挙げられることもある。日本で栽培されている品種はほとんどアーウィンであるが、世界的には数千品種があるとされている。ウルシ科で、葉だけでなく果実でもかぶれる場合がある。

## 樹の特徴・栽培特性

土壌適応性が広く、世界的に広く栽培されている。一般的にインド系は赤い果皮で単胚性、東南アジア系は黄色い果皮で多胚性である。また、インド系は低温、東南アジア系は乾燥で花芽分化する傾向にある。抗ジベレリン剤(パクロブトラゾール)処理により花芽分化が促進される。東南アジアでは抗ジベレリン剤を使った収穫期調節が実用技術になっている。



樹姿



花



結実状況



果実



いろいろな品種の果実



樹姿(タイ)

# マンゴスチン

科 オトギリソウ科  
学名 *Garcinia mangostana* L.  
英名 Mangosteen, Mangostan, Manggis  
別名  
原産地 東南アジア

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は球形で、径5～8cm。「熱帯果樹の女王」とも呼ばれる。熟した果実の硬く厚い赤紫色の果皮の中に4～8個の白い果肉が入っている。多汁で、上品な甘みと適度な酸味があり、爽やかな味わいである。このためチェリモヤとマンゴー、もしくはパイナップルと共に「世界の3大美果」の一つに挙げられることもある。果皮の赤い樹液は染料にも使われる。

## 樹の特徴・栽培特性

成長が遅く、一般的には播種から10年近くしないと開花しない。乾燥や強日射に弱く、栽培地を選ぶ。逆に冠水には強い。東南アジア以外ではほとんど栽培されていない。雌雄異株であるが、雄株は見つかっていない。単為結果するが果実には種子のようなものがある。ただし胚は無く、播種すると芽や根が複数発生する(不定芽、不定根)。受精しないので、成長するのは遺伝的に親と同じクローンである。



樹姿



開花状況



果実



果実(タイ)



樹姿(タイ)



果実(タイ)

# ミラクルフルーツ

科	アカテツ科
学名	<i>Synsepalum dulcificum</i> (Schumach. et Thonn.) Daniell
英名	Miracle fruit, Miraculous berry, Miracle berry
別名	
原産地	西アフリカ (ガーナ)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は長さ2cm程度で長楕円形。果実に含まれるミラクリンという糖タンパク質が舌の味蕾に作用し、酸っぱいものを甘く感じさせる作用がある。

## 樹の特徴・栽培特性

成長遅く、1mの高さになるのに播種から3年以上かかる。石垣島では豊産性であり、6～10月はほぼ途切れることなく結実する。



樹姿



樹姿



開花状況



花



結実状況



果実

# ヤマトゲバンレイシ

科	バンレイシ科
学名	<i>Annona montana</i> Macfad.
英名	Mountain soursop, Wild soursop
別名	ホシバンレイシ
原産地	中央アメリカ（西インド諸島）

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
収穫期(石垣島)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 果実の特徴

果実は径5～10cmの球形、小刺があり熟すと黄色になる。果肉は淡黄色の綿状で果汁多く、香気高く、風味爽快である。しかし、甘味が少なく、食用にされることは少ない。

## 樹の特徴・栽培特性

バンレイシ類のなかでは結実性がよく、石垣島では放任でもよく結実する。



開花状況



花(内部)



結実状況



果実

# ランブータン

科 ムクロジ科

学名 *Nephelium lappaceum* L., *Euphoria nephelium* D.C.

英名 Rambutan, Ramboota

別名 トゲレイシ, アモタン

原産地 東南アジア(マレーシア、インドネシア)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

マレー語のRambut(毛)とan(物)という二語から「毛の生えた(果)物」という意味である。赤色(先端が黄色の品種もある)の柔らかい毛に覆われた果肉は白色で、見た目も食感もレイシに似ている。味は酸味が少なく甘みが強い。

## 樹の特徴・栽培特性

雌雄異花。栽培品種はほとんど雄花が着かないため、結実させるには雄花を着ける受粉樹を混植するか、合成植物ホルモンの一つであるNAA処理により人為的に雄花を着生させる必要がある。寒さに弱く、ムクロジ科のランブータン、ロンガン、レイシの中では最も熱帯に適している。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



樹姿(タイ)



果実(タイ)



# リュウガン

科 ムクロジ科

学名 *Dimocarpus longan* Lour., *Euphoria longana* Lam.

英名 Longan, Lungan, Dragon's eye

別名 龍眼, ロンガン

原産地 東～東南アジア(中国南部、ベトナム、ビルマ、フィリピン)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は丸く、径2.5cm程度。リュウガンとは中国語の「龍眼」に由来し、果実には目の様な黒い種子がある。果実はややクセがあるが非常に甘い。果肉は生食の他、乾果、シロップ漬けなどにも加工される。

## 樹の特徴・栽培特性

雌雄異花。樹姿はレイシに似る。低温または乾燥で花芽分化することから、熱帯～亜熱帯地域で広く栽培されている。



樹姿



開花状況



結実状況



果実



樹姿(タイ)



果実(ベトナム)

# レイシ

科	ムクロジ科
学名	<i>Litchi chinensis</i> Sonn., <i>Nephelium litchi</i> Camb.
英名	Litchi, Lychee, Lichee
別名	ライチー, ライチ
原産地	東～東南アジア(中国南部、ベトナム、ビルマ、フィリピン)
保存品種・系統数	13
開花期(石垣島)	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
収穫期(石垣島)	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は卵形で、長さ3～4cm。赤い果皮に包まれた半透明白色の果肉は多汁で適度な甘みと酸味がある。唐時代、楊貴妃が大変好み、そのせいで国が滅びたという話は有名である。輸入の冷凍品は果皮が褐色に変色しているが、本来の生果の果皮は赤～鮮紅色である。

## 樹の特徴・栽培特性

雌雄異花。花芽分化には低温が必要である。このため、いわゆる亜熱帯地域での栽培が多い。低緯度の熱帯地域でも樹はみられるがほとんど開花・結実しない。気温が高い地域では接ぎ木しにくいいため、取り木で繁殖されることが多い。



樹姿



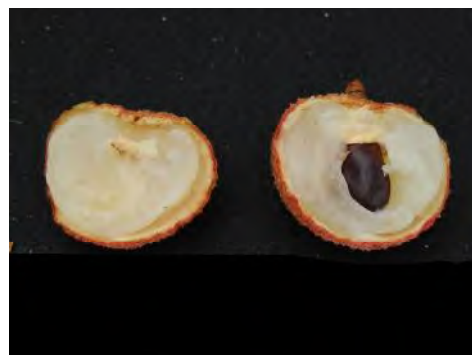
開花状況(雌花)



結実状況



果実



果実



果実(中国)

# レンブ

科 フトモモ科

学名 *Syzygium samarangense* (Blume) Merr.et L.M.Perry, *Syzygium javanicum* Merr.et L.M.Perry

英名 Java apple, Wax jambu, Wax apple

別名 オオフトモモ, ジャワフトモモ

原産地 東南アジア(マレー半島)

保存品種・系統数 13

開花期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

収穫期(石垣島) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 果実の特徴

果実は洋梨型、果皮はワックスを塗ったような光沢があり、紅、桃、白、緑とさまざまな品種がある。果肉はナシとリンゴを合わせたような食感でさわやかな甘味と酸味がある。東南アジアで栽培されている品種は、沖縄在来系統と比べると良食味である。

## 樹の特徴・栽培特性

栽培による品質の違いが大きい。品種・系統によってはタネがほとんど入らないが、挿し木で容易に繁殖できる。フトモモとも接ぎ木親和性がある。



樹姿



開花状況(タイ)



結実状況



果実



結実状況(タイ)



果実(タイ)